ALLIANCEBERNSTEIN®

運用報告書(全体版)

アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Aコース(為替ヘッジあり)
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式
第15期(決算日2020年8月28日)

●当ファンドの仕組み
当ファンドの仕組みは次のとおりです。

	Aコース(為替ヘッジあり)	Bコース(為替ヘッジなし)
商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2005年8月17日（当初設定日）から2034年8月28日までです。	
運用方針	アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、長期的な信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。	
	実質外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Aコース(為替ヘッジあり) アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)	アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド	主として新興国の株式に投資します。
組入制限	アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Aコース(為替ヘッジあり) アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)	①株式への実質投資割合は、制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。
	アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド	①株式への投資には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用を行います。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Aコース(為替ヘッジあり)」「アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)」は、このたび第15期の決算を行いました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社
〒100-0011
東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント
お問合せ先　お客様窓口
電話番号　03-5962-9687
(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)
ホームページアドレス　https://www.alliancebernstein.co.jp

Ａコース(為替ヘッジあり)

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率		期中騰落率					
	円	円	%		%	%	%	%	%	百万円
11期(2016年８月29日)	13,106	150	11.3	16,326	13.0	97.9	－	－	－	591
12期(2017年８月28日)	15,755	170	21.5	19,885	21.8	95.8	－	－	－	1,103
13期(2018年８月28日)	14,694	0	△ 6.7	19,661	△ 1.1	97.4	1.8	－	－	1,756
14期(2019年８月28日)	12,717	200	△12.1	17,726	△ 9.8	97.8	－	－	－	1,309
15期(2020年８月28日)	15,457	210	23.2	20,714	16.9	95.3	－	－	0.8	1,105

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「債券組入比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) 株式組入比率には、新株予約権証券、オプション証券等を含みます。
(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率				
(期首)	円	%		%	%	%	%	%
2019年８月28日	12,717	－	17,726	－	97.8	－	－	－
８月末	12,866	1.2	17,831	0.6	97.9	－	－	－
９月末	13,174	3.6	18,413	3.9	98.5	－	－	－
10月末	13,537	6.4	19,134	7.9	100.0	－	－	－
11月末	13,753	8.1	19,276	8.7	98.4	－	－	0.2
12月末	14,312	12.5	20,548	15.9	98.6	－	－	0.2
2020年１月末	14,069	10.6	19,679	11.0	97.9	－	－	0.2
２月末	13,597	6.9	18,893	6.6	95.5	－	－	0.6
３月末	11,025	△13.3	15,269	△13.9	94.3	－	－	1.0
４月末	12,103	△ 4.8	16,881	△ 4.8	91.1	－	－	0.9
５月末	12,518	△ 1.6	17,006	△ 4.1	92.5	－	－	0.8
６月末	13,721	7.9	18,327	3.4	95.4	－	－	0.8
７月末	15,176	19.3	20,044	13.1	95.5	－	－	0.7
(期末)								
2020年８月28日	15,667	23.2	20,714	16.9	95.3	－	－	0.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「債券組入比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。
(注) 月末は、各月の最終営業日です。

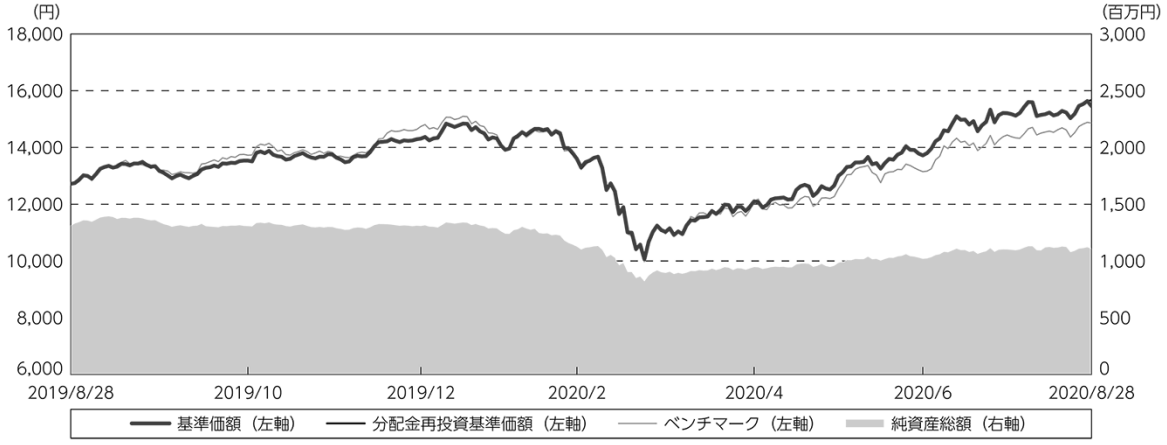
※ベンチマークについて
当ファンドのベンチマークは「MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジベース）」です。「MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジベース）」は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（米ドルベース）をもとに、為替ヘッジに係る費用相当分を考慮して委託会社が円ヘッジベースに換算したものです。ここでは当初設定日（2005年８月17日）を10,000として指数化しております。MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、世界のエマージング諸国の株式市場のパフォーマンスを測る指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。
当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Ａコース（為替ヘッジあり）（以下「当ファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2019年8月29日～2020年8月28日）



期　首：12,717円
期　末：15,457円（既払分配金（税込み）：210円）
騰落率：　23.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）上記騰落率は、小数第２位を四捨五入して表示しております。
（注）分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首（2019年８月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジベース）です。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は前期末比＋23.2%※と、ベンチマークであるMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジベース）の同＋16.9%を上回るパフォーマンスとなりました。

※基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

〇基準価額の主な変動要因

上昇要因

一般消費財・サービス関連や情報技術関連の保有銘柄の価格上昇

下落要因

金融関連や不動産関連の保有銘柄の価格下落

投資環境

（2019年8月29日～2020年8月28日）

【株式市場】

新興国株式市場は、大幅に下落する場面があったものの、前期末比では上昇しました。

期初から2020年１月中旬にかけては、おおむね堅調に推移しました。世界的な金融緩和に加えて、米中両国が通商協議をめぐる「第一段階」の合意に署名したことや、米国および中国の景気動向に好転の兆しが見られたことなどが、株価を大幅に押し上げました。しかし、１月下旬には、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大リスクへの懸念から反落し、その後３月中旬にかけては、世界的に感染が拡大する中、世界経済の減速懸念から大幅に下落しました。３月下旬以降は、各国政府や中央銀行による支援策や経済活動の再開などを好感し、上昇基調に転じました。期末にかけても、世界中で続く財政・金融政策による支援が新興国への資金流入を支えたほか、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待や米株高なども、新興国の株価を後押ししました。

運用概況

（2019年8月29日～2020年8月28日）

＜当ファンド＞

当ファンドはアライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券への投資を通じて、主として新興国の株式に分散投資することにより、長期的な信託財産の成長を目指します。

当ファンドは期を通じて、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

＜マザーファンド＞

ボトムアップによるファンダメンタル分析を行い、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される銘柄を厳選します。運用にあたっては、市場のダウンサイド・リスクに注視しながらも、長期的な成長トレンドに支えられる、ファンダメンタルズの優れた銘柄を中心に投資する方針で臨みました。

＜マザーファンドのセクター別組入比率＞

前期末（2019年８月28日現在）

セクター	比率
金融	29.4%
一般消費財・サービス	19.4%
情報技術	13.4%
生活必需品	10.4%
コミュニケーション・サービス	8.4%
その他	17.9%
現金等	1.2%

当期末（2020年８月28日現在）

セクター	比率
情報技術	24.3%
一般消費財・サービス	23.3%
金融	16.9%
コミュニケーション・サービス	16.4%
資本財・サービス	5.4%
その他	10.8%
現金等	2.9%

＜マザーファンドの国別組入比率＞

前期末（2019年８月28日現在）

国	比率
中国	29.5%
インド	13.4%
韓国	9.2%
ブラジル	8.7%
ロシア	8.0%
その他	30.1%
現金等	1.2%

当期末（2020年８月28日現在）

国	比率
中国	43.6%
台湾	14.5%
インド	6.5%
韓国	6.4%
ブラジル	4.8%
その他	21.3%
現金等	2.9%

（注）組入比率はアライアンス・バーンスタイン新興国成長株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）セクター別組入比率は、MSCI／S&PのGlobal Industry Classification Standard （GICS）の分類で区分しています。
（注）国別組入比率は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

その結果、セクター別では、情報技術セクターやコミュニケーション・サービス・セクターの組入比率が上昇しました。一方、金融セクターや生活必需品セクターの組入比率が減少しました。国別では、中国や台湾の組入比率が上昇する一方、インドやブラジルの組入比率が減少しました。

個別銘柄では、台湾の半導体設計・開発会社のメディアテックや中国のオンライン直販会社のＪＤドットコムなどを新たに組み入れました。一方、中国の酒造会社の宜賓五糧液（ウーリャンイエ・イーピン）やロシアのインターネット・ウェブサイト運営会社のヤンデックスなどを全て売却しました。

株式の組入比率は期を通じて高い水準を維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

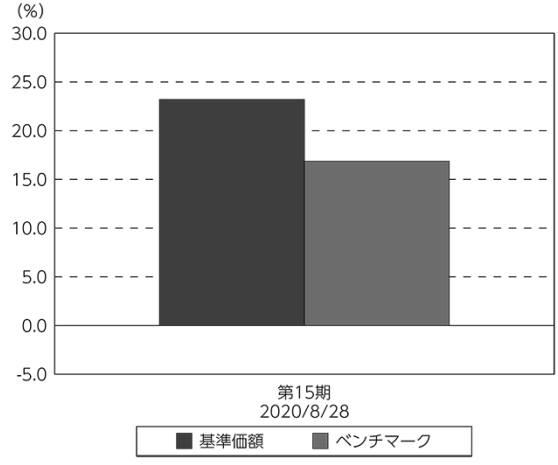
（2019年8月29日～2020年8月28日）

ベンチマークとの比較では、当期はセクター配分、銘柄選択ともにプラス要因となりました。

セクター配分では、エネルギー・セクターのアンダーウェイトや一般消費財・サービス・セクターのオーバーウェイトなどがプラスとなりました。

銘柄選択では、生活必需品セクターや情報技術セクターなどにおける選択がプラスとなりました。

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。
（注）ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジベース）です。

分配金

（2019年8月29日～2020年8月28日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、210円（１万口当たり、税込み）としました。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項目	第15期 2019年８月29日～ 2020年８月28日
当期分配金	210
（対基準価額比率）	1.340％
当期の収益	－
当期の収益以外	210
翌期繰越分配対象額	5,457

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

＜当ファンド＞

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

＜マザーファンド＞

新興国市場は国やセクター間、企業間のファンダメンタルズの格差が大きく、また為替や金利への感応度にも差が大きいことから、選別的なアクティブ投資に適した環境と考えています。

マザーファンドでは個別企業のファンダメンタルズにフォーカスし、長期的な観点から高いクオリティや財務健全性が過小評価されている企業、あるいは力強い成長性を持ち、魅力的な長期トレンドを捉えている企業に重点的に投資していく考えです。また、リスク管理の観点から経済サイクルやマクロ経済上のリスクを抑制し、企業統治の劣る企業を避けるとともに、経済的および政治的リスクのある国については慎重に対応します。引き続き、マザーファンドが採用する地域横断的な独自の個別銘柄リサーチにより、利益率が高く長期に利益成長性が高い魅力的な企業を発掘することに努めます。

今後も投資環境の変化に注意を払いながら運用にあたり、運用成果の向上に全力で取り組んでいく所存ですので、引き続きご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○１万口当たりの費用明細

（2019年８月29日～2020年８月28日）

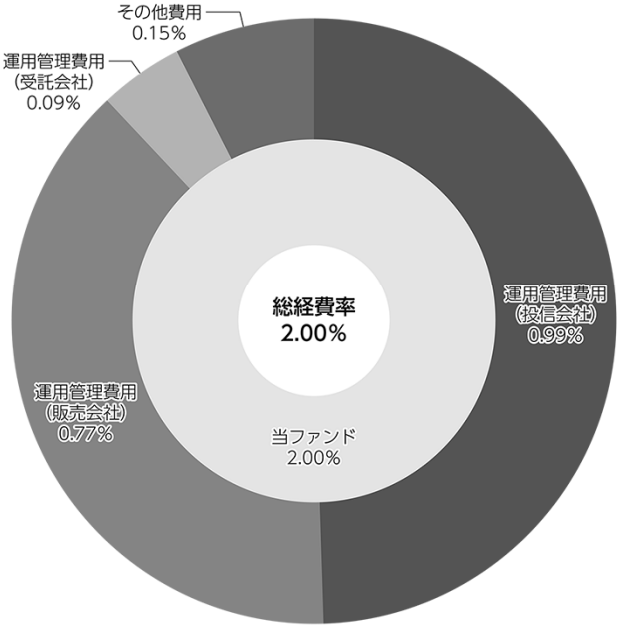
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	246	1.848	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(132)	(0.990)	委託した資金の運用、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(103)	(0.770)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(12)	(0.088)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	28	0.212	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(26)	(0.192)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
（オプション証券等）	(2)	(0.018)	
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	26	0.197	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（株式）	(26)	(0.196)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	19	0.146	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(9)	(0.066)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(11)	(0.080)	その他は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受益権の管理事務に係る費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・交付および届出に係る費用等
合計	319	2.403	
期中の平均基準価額は、13,320円です。			

（注）期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。
（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は、１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.00％です。



（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2019年８月29日～2020年８月28日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド	67,263	149,368	277,455	641,617

（注）単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

（2019年８月29日～2020年８月28日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	30,516,059千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	11,282,894千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	2.70

（注）株式売買金額は、受け渡し代金。
（注）平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額(外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額)の単純平均。
（注）単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2019年８月29日～2020年８月28日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2020年８月28日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド	622,671	412,480	1,094,021

（注）単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2020年８月28日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド	1,094,021	95.6
コール・ローン等、その他	50,000	4.4
投資信託財産総額	1,144,021	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

（注）アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（11,310,897千円）の投資信託財産総額（11,660,889千円）に対する比率は97.0％です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、１米ドル＝106.66円、１メキシコペソ＝4.82円、１ブラジルレアル＝19.15円、１ユーロ＝126.06円、１英ポンド＝140.78円、１ポーランドズロチ＝28.57円、１香港ドル＝13.76円、１マレーシアリンギット＝25.57円、１タイバーツ＝3.41円、100インドネシアルピア＝0.73円、100韓国ウォン＝9.01円、１新台湾ドル＝3.63円、１インドルピー＝1.45円、１ケニアシリング＝0.99円、１南アフリカランド＝6.25円、１中国元＝15.50円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 （2020年８月28日現在）

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,267,784,307
コール・ローン等	23,141,059
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド(評価額)	1,094,021,963
未収入金	1,150,621,285
(B) 負債	1,161,881,644
未払金	1,135,498,596
未払収益分配金	15,024,588
未払解約金	1,775,977
未払信託報酬	9,276,294
未払利息	52
その他未払費用	306,137
(C) 純資産総額（Ａ－Ｂ）	1,105,902,663
元本	715,456,596
次期繰越損益金	390,446,067
(D) 受益権総口数	715,456,596口
１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）	15,457円

（注）期首元本額1,029,587,985円、期中追加設定元本額62,509,385円、期中一部解約元本額376,640,774円。当期末現在における１口当たり純資産額1.5457円。

○損益の状況 （2019年８月29日～2020年８月28日）

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	△　　4,241
支払利息	△　　4,241
(B) 有価証券売買損益	226,480,466
売買益	439,169,599
売買損	△212,689,133
(C) 信託報酬等	△ 22,078,503
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	204,397,722
(E) 前期繰越損益金	△161,684,465
(F) 追加信託差損益金	362,757,398
（配当等相当額）	（　336,433,046）
（売買損益相当額）	（　 26,324,352）
(G) 計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	405,470,655
(H) 収益分配金	△ 15,024,588
次期繰越損益金（Ｇ＋Ｈ）	390,446,067
追加信託差損益金	362,757,398
（配当等相当額）	（　336,433,046）
（売買損益相当額）	（　 26,324,352）
分配準備積立金	34,072,684
繰越損益金	△　6,384,015

（注）損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

（注）損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額およびその他費用等を含めて表示しています。

（注）損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）第15期計算期間末における費用控除後の配当等収益額（0円）、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額（0円）、収益調整金額（356,373,383円）および分配準備積立金額（49,097,272円）より分配対象収益額は405,470,655円（10,000口当たり5,667円）であり、うち15,024,588円（10,000口当たり210円）を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

１万口当たり分配金（税込み）	210円

★分配金の内訳、税金の取扱いは以下のとおりです。

◇課税上の取扱い

①分配金の課税について
- 分配金は「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に区分され、普通分配金に課税されます。
- 分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本と同額または受益者の個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- 分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。　ただし分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本を下回り、かつ分配金と分配落ち後の基準価額を加えたものが受益者の個別元本と同額か下回る場合には、分配金の全額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

②個人の課税上の取扱い
- 元本払戻金（特別分配金）：元本払戻金（特別分配金）は、お客様の取得元本の一部の払い戻しに当たるため、課税されません。
- 普通分配金：個人の受益者の源泉徴収時には、配当所得として以下のように課税されます。
  20.315%（所得税15.315%、地方税５%）
  ※法人の場合は上記とは異なります。

※税法が改正された場合等には上記の内容が変更されることがあります。詳しくは販売会社へお問い合わせください。
※外国税額控除の適用となった場合には、普通分配金から源泉徴収される税額が上記と異なる場合があります。
※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご相談されることをお勧めします。

○お知らせ

2019年８月29日以降において、当ファンドの信託約款について、以下に掲げる事項を内容とする変更を行いました。

当ファンドの運用を継続し、投資機会を引き続き提供させていただくことが受益者の皆様に有利であると判断しましたので、信託期間を10年延長し、信託終了日を2024年８月28日から2034年８月28日に変更しました。　（変更日：2019年11月28日）

Bコース(為替ヘッジなし)

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率		期中騰落率					
	円	円	%		%	%	%	%	%	百万円
11期(2016年８月29日)	13,207	120	△ 5.2	17,626	△ 4.5	98.1	－	－	－	5,849
12期(2017年８月28日)	17,207	230	32.0	23,248	31.9	97.5	－	－	－	7,626
13期(2018年８月28日)	16,659	0	△ 3.2	23,893	2.8	97.5	1.8	－	－	7,728
14期(2019年８月28日)	14,130	230	△13.8	21,024	△12.0	98.8	－	－	－	6,109
15期(2020年８月28日)	17,453	240	25.2	25,141	19.6	96.3	－	－	0.8	6,224

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「債券組入比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) 株式組入比率には、新株予約権証券、オプション証券等を含みます。
(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率				
(期首)	円	%		%	%	%	%	%
2019年８月28日	14,130	－	21,024	－	98.8	－	－	－
８月末	14,391	1.8	21,297	1.3	97.7	－	－	－
９月末	14,969	5.9	22,336	6.2	97.5	－	－	－
10月末	15,542	10.0	23,462	11.6	98.5	－	－	－
11月末	15,903	12.5	23,822	13.3	98.3	－	－	0.2
12月末	16,593	17.4	25,437	21.0	98.3	－	－	0.2
2020年１月末	16,271	15.2	24,292	15.5	97.9	－	－	0.2
２月末	15,796	11.8	23,434	11.5	96.8	－	－	0.6
３月末	12,636	△10.6	18,861	△10.3	91.9	－	－	0.9
４月末	13,644	△ 3.4	20,501	△ 2.5	92.3	－	－	0.9
５月末	14,200	0.5	20,791	△ 1.1	92.6	－	－	0.8
６月末	15,607	10.5	22,457	6.8	96.7	－	－	0.8
７月末	16,804	18.9	23,851	13.4	98.4	－	－	0.8
(期末)								
2020年８月28日	17,693	25.2	25,141	19.6	96.3	－	－	0.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「債券組入比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。
(注) 月末は、各月の最終営業日です。

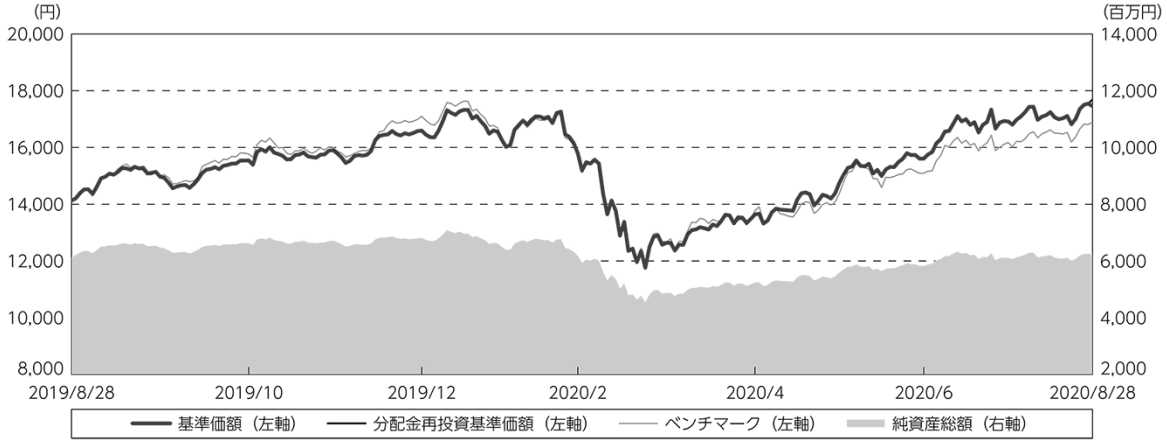
※ベンチマークについて
当ファンドのベンチマークは「MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）」です。「MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）」は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（米ドルベース）をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円換算したものです。ここでは当初設定日（2005年８月17日）を10,000として指数化しております。MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、世界のエマージング諸国の株式市場のパフォーマンスを測る指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。
当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Ｂコース（為替ヘッジなし）（以下「当ファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2019年8月29日～2020年8月28日）



期　首：14,130円
期　末：17,453円（既払分配金（税込み）：240円）
騰落率：　25.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）上記騰落率は、小数第２位を四捨五入して表示しております。
（注）分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首（2019年８月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）です。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は前期末比＋25.2%※と、ベンチマークであるMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）の同＋19.6%を上回るパフォーマンスとなりました。

※基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

一般消費財・サービス関連や情報技術関連の保有銘柄の価格上昇

下落要因

金融関連や不動産関連の保有銘柄の価格下落

投資環境

（2019年8月29日～2020年8月28日）

【株式市場】

新興国株式市場は、大幅に下落する場面があったものの、前期末比では上昇しました。

期初から2020年１月中旬にかけては、おおむね堅調に推移しました。世界的な金融緩和に加えて、米中両国が通商協議をめぐる「第一段階」の合意に署名したことや、米国および中国の景気動向に好転の兆しが見られたことなどが、株価を大幅に押し上げました。しかし、１月下旬には、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大リスクへの懸念から反落し、その後３月中旬にかけては、世界的に感染が拡大する中、世界経済の減速懸念から大幅に下落しました。３月下旬以降は、各国政府や中央銀行による支援策や経済活動の再開などを好感し、上昇基調に転じました。期末にかけても、世界中で続く財政・金融政策による支援が新興国への資金流入を支えたほか、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待や米株高なども、新興国の株価を後押ししました。

【為替市場】

円ドル相場は、前期末比ではほぼ変わらずとなりました。

期初から2020年２月下旬にかけては、堅調な米国株式市場や冴えない日本の経済指標、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた日本銀行（日銀）による追加緩和への思惑などから、円安ドル高基調で推移しました。その後３月初旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念から安全資産である円が買われ、急速に円高ドル安が進行しました。３月中旬にはドルが反発したものの、その後は再び円高ドル安基調となりました。６月から７月にかけても、新型コロナウイルス感染拡大第２波への懸念が再燃する中、米連邦公開市場委員会（ＦＯＭＣ）が金融緩和策の継続を決定したことなどから、円高ドル安がさらに進行しました。その後期末にかけては、安倍首相による辞任表明などは円高ドル安圧力となったものの、米国長期金利の上昇などを背景に、若干円安ドル高となりました。

運用概況

（2019年8月29日～2020年8月28日）

＜当ファンド＞

当ファンドはアライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券への投資を通じて、主として新興国の株式に分散投資することにより、長期的な信託財産の成長を目指します。

当ファンドは期を通じて、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

＜マザーファンド＞

ボトムアップによるファンダメンタル分析を行い、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される銘柄を厳選します。運用にあたっては、市場のダウンサイド・リスクに注視しながらも、長期的な成長トレンドに支えられる、ファンダメンタルズの優れた銘柄を中心に投資する方針で臨みました。

＜マザーファンドのセクター別組入比率＞

前期末（2019年８月28日現在）

セクター	比率
金融	29.4%
一般消費財・サービス	19.4%
情報技術	13.4%
生活必需品	10.4%
コミュニケーション・サービス	8.4%
その他	17.9%
現金等	1.2%

当期末（2020年８月28日現在）

セクター	比率
情報技術	24.3%
一般消費財・サービス	23.3%
金融	16.9%
コミュニケーション・サービス	16.4%
資本財・サービス	5.4%
その他	10.8%
現金等	2.9%

＜マザーファンドの国別組入比率＞

前期末（2019年８月28日現在）

国	比率
中国	29.5%
インド	13.4%
韓国	9.2%
ブラジル	8.7%
ロシア	8.0%
その他	30.1%
現金等	1.2%

当期末（2020年８月28日現在）

国	比率
中国	43.6%
台湾	14.5%
インド	6.5%
韓国	6.4%
ブラジル	4.8%
その他	21.3%
現金等	2.9%

（注）組入比率はアライアンス・バーンスタイン新興国成長株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）セクター別組入比率は、MSCI／S&PのGlobal Industry Classification Standard （GICS）の分類で区分しています。
（注）国別組入比率は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

その結果、セクター別では、情報技術セクターやコミュニケーション・サービス・セクターの組入比率が上昇しました。一方、金融セクターや生活必需品セクターの組入比率が減少しました。国別では、中国や台湾の組入比率が上昇する一方、インドやブラジルの組入比率が減少しました。

個別銘柄では、台湾の半導体設計・開発会社のメディアテックや中国のオンライン直販会社のＪＤドットコムなどを新たに組み入れました。一方、中国の酒造会社の宜賓五糧液（ウーリャンイエ・イーピン）やロシアのインターネット・ウェブサイト運営会社のヤンデックスなどを全て売却しました。

株式の組入比率は期を通じて高い水準を維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

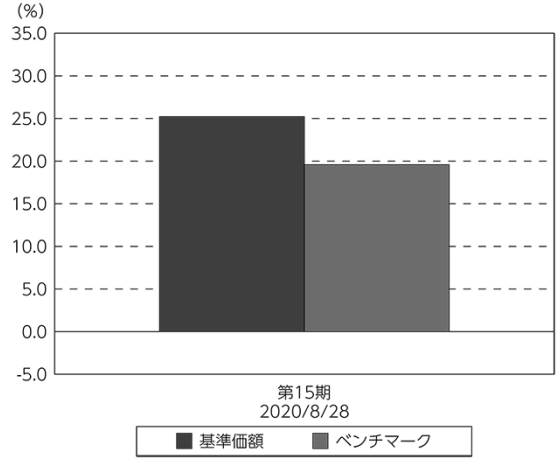
（2019年8月29日～2020年8月28日）

ベンチマークとの比較では、当期はセクター配分、銘柄選択ともにプラス要因となりました。

セクター配分では、エネルギー・セクターのアンダーウェイトや一般消費財・サービス・セクターのオーバーウェイトなどがプラスとなりました。

銘柄選択では、生活必需品セクターや情報技術セクターなどにおける選択がプラスとなりました。

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。
（注）ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）です。

分配金

（2019年8月29日～2020年8月28日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、240円（１万口当たり、税込み）としました。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項目	第15期 2019年８月29日～ 2020年８月28日
当期分配金	240
（対基準価額比率）	1.356％
当期の収益	240
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	7,453

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

＜当ファンド＞

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

＜マザーファンド＞

新興国市場は国やセクター間、企業間のファンダメンタルズの格差が大きく、また為替や金利への感応度にも差が大きいことから、選別的なアクティブ投資に適した環境と考えています。

マザーファンドでは個別企業のファンダメンタルズにフォーカスし、長期的な観点から高いクオリティや財務健全性が過小評価されている企業、あるいは力強い成長性を持ち、魅力的な長期トレンドを捉えている企業に重点的に投資していく考えです。また、リスク管理の観点から経済サイクルやマクロ経済上のリスクを抑制し、企業統治の劣る企業を避けるとともに、経済的および政治的リスクのある国については慎重に対応します。引き続き、マザーファンドが採用する地域横断的な独自の個別銘柄リサーチにより、利益率が高く長期に利益成長性が高い魅力的な企業を発掘することに努めます。

今後も投資環境の変化に注意を払いながら運用にあたり、運用成果の向上に全力で取り組んでいく所存ですので、引き続きご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○１万口当たりの費用明細

（2019年８月29日～2020年８月28日）

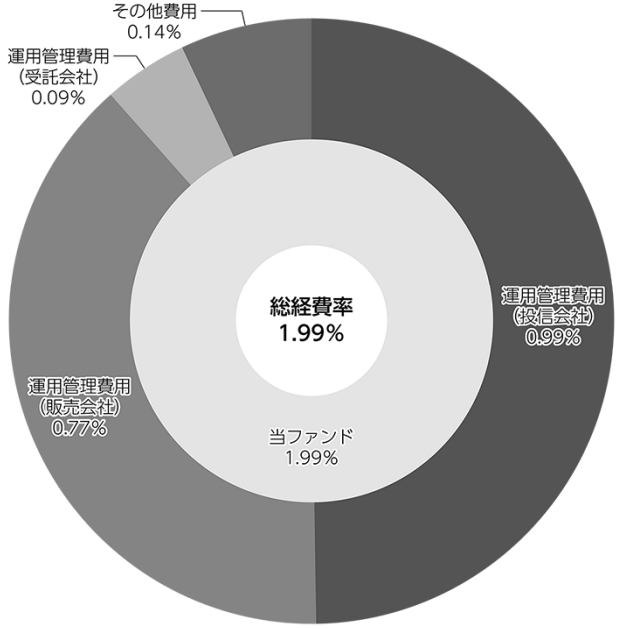
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	281	1.848	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(150)	(0.990)	委託した資金の運用、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(117)	(0.770)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(13)	(0.088)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	33	0.217	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(30)	(0.197)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
（オプション証券等）	(3)	(0.018)	
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	31	0.203	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（株式）	(31)	(0.202)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	21	0.136	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(10)	(0.069)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(10)	(0.067)	その他は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受益権の管理事務に係る費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・交付および届出に係る費用等
合計	366	2.404	
期中の平均基準価額は、15,196円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各比率は、１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.99％です。



（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年８月29日～2020年８月28日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド	50,540	107,197	638,298	1,518,880

(注) 単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2019年８月29日～2020年８月28日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	30,516,059千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	11,282,894千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	2.70

(注) 株式売買金額は、受け渡し代金。
(注) 平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額(外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額)の単純平均。
(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年８月29日～2020年８月28日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2020年８月28日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド	2,934,057	2,346,299	6,223,089

（注）単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2020年８月28日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド	6,223,089	97.7
コール・ローン等、その他	144,290	2.3
投資信託財産総額	6,367,379	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

（注）アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（11,310,897千円）の投資信託財産総額（11,660,889千円）に対する比率は97.0％です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、１米ドル＝106.66円、１メキシコペソ＝4.82円、１ブラジルレアル＝19.15円、１ユーロ＝126.06円、１英ポンド＝140.78円、１ポーランドズロチ＝28.57円、１香港ドル＝13.76円、１マレーシアリンギット＝25.57円、１タイバーツ＝3.41円、100インドネシアルピア＝0.73円、100韓国ウォン＝9.01円、１新台湾ドル＝3.63円、１インドルピー＝1.45円、１ケニアシリング＝0.99円、１南アフリカランド＝6.25円、１中国元＝15.50円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 （2020年８月28日現在）

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,367,379,929
コール・ローン等	4,270,137
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド(評価額)	6,223,089,792
未収入金	140,020,000
(B) 負債	143,266,162
未払収益分配金	85,586,808
未払解約金	4,705,084
未払信託報酬	51,605,977
未払利息	9
その他未払費用	1,368,284
(C) 純資産総額（Ａ－Ｂ）	6,224,113,767
元本	3,566,117,009
次期繰越損益金	2,657,996,758
(D) 受益権総口数	3,566,117,009口
１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）	17,453円

（注）期首元本額4,323,325,607円、期中追加設定元本額138,355,616円、期中一部解約元本額895,564,214円。当期末現在における１口当たり純資産額1.7453円。

○損益の状況 （2019年８月29日～2020年８月28日）

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,308
支払利息	△ 1,308
(B) 有価証券売買損益	1,374,622,802
売買益	1,539,825,831
売買損	△ 165,203,029
(C) 信託報酬等	△ 115,938,134
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	1,258,683,360
(E) 前期繰越損益金	△ 216,061,080
(F) 追加信託差損益金	1,700,961,286
（配当等相当額）	(1,418,856,332)
（売買損益相当額）	(282,104,954)
(G) 計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	2,743,583,566
(H) 収益分配金	△ 85,586,808
次期繰越損益金（Ｇ＋Ｈ）	2,657,996,758
追加信託差損益金	1,700,961,286
（配当等相当額）	(1,418,856,332)
（売買損益相当額）	(282,104,954)
分配準備積立金	957,036,780
繰越損益金	△ 1,308

（注）損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

（注）損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額およびその他費用等を含めて表示しています。

（注）損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）第15期計算期間末における費用控除後の配当等収益額（0円）、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額（214,030,663円）、収益調整金額（1,700,959,978円）および分配準備積立金額（828,592,925円）より分配対象収益額は2,743,583,566円（10,000口当たり7,693円）であり、うち85,586,808円（10,000口当たり240円）を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

１万口当たり分配金（税込み）	240円

★分配金の内訳、税金の取扱いは以下のとおりです。

◇課税上の取扱い

①分配金の課税について
- 分配金は「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に区分され、普通分配金に課税されます。
- 分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本と同額または受益者の個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- 分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。　ただし分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本を下回り、かつ分配金と分配落ち後の基準価額を加えたものが受益者の個別元本と同額か下回る場合には、分配金の全額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

②個人の課税上の取扱い
- 元本払戻金（特別分配金）：元本払戻金（特別分配金）は、お客様の取得元本の一部の払い戻しに当たるため、課税されません。
- 普通分配金：個人の受益者の源泉徴収時には、配当所得として以下のように課税されます。
  20.315％（所得税15.315％、地方税５％）
  ※法人の場合は上記とは異なります。

※税法が改正された場合等には上記の内容が変更されることがあります。詳しくは販売会社へお問い合わせください。
※外国税額控除の適用となった場合には、普通分配金から源泉徴収される税額が上記と異なる場合があります。
※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご相談されることをお勧めします。

○お知らせ

2019年８月29日以降において、当ファンドの信託約款について、以下に掲げる事項を内容とする変更を行いました。

当ファンドの運用を継続し、投資機会を引き続き提供させていただくことが受益者の皆様に有利であると判断しましたので、信託期間を10年延長し、信託終了日を2024年８月28日から2034年８月28日に変更しました。　（変更日：2019年11月28日）

運用報告書

アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド

第15期(決算日2020年８月28日)

(計算期間：2019年８月29日～2020年８月28日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	長期的な信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。
主要運用対象	主として新興国の株式に投資します。
組入制限	①株式への投資には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資には制限を設けません。

アライアンス・バーンスタイン株式会社
〒100-0011
東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント
お問合せ先　お客様窓口
電話番号　03-5962-9687
(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)
ホームページアドレス　https://www.alliancebernstein.co.jp

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		期中騰落率					
	円	%		%	%	%	%	%	百万円
11期(2016年８月29日)	17,876	△ 3.4	40,193	△ 4.5	98.2	－	－	－	7,917
12期(2017年８月28日)	24,012	34.3	53,012	31.9	97.5	－	－	－	11,573
13期(2018年８月28日)	23,695	△ 1.3	54,482	2.8	97.6	1.8	－	－	19,030
14期(2019年８月28日)	20,815	△12.2	47,940	△12.0	98.8	－	－	－	13,604
15期(2020年８月28日)	26,523	27.4	57,328	19.6	96.3	－	－	0.8	11,336

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券、オプション証券等を含みます。
(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率				
(期首)	円	%		%	%	%	%	%
2019年８月28日	20,815	－	47,940	－	98.8	－	－	－
８月末	21,203	1.9	48,563	1.3	97.7	－	－	－
９月末	22,088	6.1	50,933	6.2	97.4	－	－	－
10月末	22,968	10.3	53,500	11.6	98.2	－	－	－
11月末	23,535	13.1	54,321	13.3	97.9	－	－	0.2
12月末	24,589	18.1	58,003	21.0	97.7	－	－	0.2
2020年１月末	24,156	16.1	55,392	15.5	97.1	－	－	0.2
２月末	23,485	12.8	53,437	11.5	96.8	－	－	0.6
３月末	18,819	△ 9.6	43,008	△10.3	91.8	－	－	0.9
４月末	20,349	△ 2.2	46,749	△ 2.5	92.1	－	－	0.9
５月末	21,207	1.9	47,408	△ 1.1	92.2	－	－	0.8
６月末	23,337	12.1	51,209	6.8	96.2	－	－	0.8
７月末	25,158	20.9	54,388	13.4	97.7	－	－	0.8
(期末)								
2020年８月28日	26,523	27.4	57,328	19.6	96.3	－	－	0.8

(注) 各騰落率は期首比です。
(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。
(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※参考指数について
当マザーファンドの参考指数は「MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）」です。「MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）」は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（米ドルベース）をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円換算したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、世界のエマージング諸国の株式市場のパフォーマンスを測る指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。
当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド（以下「当マザーファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2019年8月29日～2020年8月28日）

○基準価額等の推移

基準価額は前期末比＋27.4％となりました。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

・一般消費財・サービス関連や情報技術関連の保有銘柄の価格上昇

下落要因

・金融関連や不動産関連の保有銘柄の価格下落

＊参考指数については前ページ「※参考指数について」をご参照ください。

投資環境

（2019年8月29日～2020年8月28日）

【株式市場】

新興国株式市場は、大幅に下落する場面があったものの、前期末比では上昇しました。

期初から2020年１月中旬にかけては、おおむね堅調に推移しました。世界的な金融緩和に加えて、米中両国が通商協議をめぐる「第一段階」の合意に署名したことや、米国および中国の景気動向に好転の兆しが見られたことなどが、株価を大幅に押し上げました。しかし、１月下旬には、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大リスクへの懸念から反落し、その後３月中旬にかけては、世界的に感染が拡大する中、世界経済の減

速懸念から大幅に下落しました。３月下旬以降は、各国政府や中央銀行による支援策や経済活動の再開などを好感し、上昇基調に転じました。期末にかけても、世界中で続く財政・金融政策による支援が新興国への資金流入を支えたほか、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待や米株高なども、新興国の株価を後押ししました。

【為替市場】

円ドル相場は、前期末比ではほぼ変わらずとなりました。

期初から2020年２月下旬にかけては、堅調な米国株式市場や冴えない日本の経済指標、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた日本銀行（日銀）による追加緩和への思惑などから、円安ドル高基調で推移しました。その後３月初旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念から安全資産である円が買われ、急速に円高ドル安が進行しました。３月中旬にはドルが反発したものの、その後は再び円高ドル安基調となりました。６月から７月にかけても、新型コロナウイルス感染拡大第２波への懸念が再燃する中、米連邦公開市場委員会（ＦＯＭＣ）が金融緩和策の継続を決定したことなどから、円高ドル安がさらに進行しました。その後期末にかけては、安倍首相による辞任表明などは円高ドル安圧力となったものの、米国長期金利の上昇などを背景に、若干円安ドル高となりました。

運用概況

（2019年8月29日～2020年8月28日）

当マザーファンドは、エマージング諸国の株式を対象に、ボトムアップによるファンダメンタル分析を行い、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される銘柄に投資するアクティブ運用を行います。

運用にあたっては、当期も引き続き、市場のダウンサイド・リスクに注視しながらも、長期的な成長トレンドに支えられる、ファンダメンタルズの優れた銘柄を中心に投資する方針で臨みました。

その結果、セクター別では、情報技術セクターやコミュニケーション・サービス・セクターの組入比率が上昇しました。一方、金融セクターや生活必需品セクターの組入比率が減少しました。国別では、中国や台湾の組入比率が上昇する一方、インドやブラジルの組入比率が減少しました。

＜セクター別組入比率＞

前期末（2019年８月28日現在）

セクター	比率
金融	29.4%
一般消費財・サービス	19.4%
情報技術	13.4%
生活必需品	10.4%
コミュニケーション･サービス	8.4%
その他	17.9%
現金等	1.2%

当期末（2020年８月28日現在）

セクター	比率
情報技術	24.3%
一般消費財・サービス	23.3%
金融	16.9%
コミュニケーション･サービス	16.4%
資本財・サービス	5.4%
その他	10.8%
現金等	2.9%

＜国別組入比率＞

前期末（2019年８月28日現在）

国	比率
中国	29.5%
インド	13.4%
韓国	9.2%
ブラジル	8.7%
ロシア	8.0%
その他	30.1%
現金等	1.2%

当期末（2020年８月28日現在）

国	比率
中国	43.6%
台湾	14.5%
インド	6.5%
韓国	6.4%
ブラジル	4.8%
その他	21.3%
現金等	2.9%

(注) 組入比率はアライアンス･バーンスタイン新興国成長株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) セクター別組入比率は、MSCI／S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS)の分類で区分しています。
(注) 国別組入比率は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

個別銘柄では、台湾の半導体設計・開発会社のメディアテックや中国のオンライン直販会社のJDドットコムなどを新たに組み入れました。一方、中国の酒造会社の宜賓五糧液（ウーリャンイエ・イーピン）やロシアのインターネット・ウェブサイト運営会社のヤンデックスなどを全て売却しました。

株式の組入比率は期を通じて高い水準を維持しました。

今後の運用方針

新興国市場は国やセクター間、企業間のファンダメンタルズの格差が大きく、また為替や金利への感応度にも差が大きいことから、選別的なアクティブ投資に適した環境と考えています。

当マザーファンドでは個別企業のファンダメンタルズにフォーカスし、長期的な観点から高いクオリティや財務健全性が過小評価されている企業、あるいは力強い成長性を持ち、魅力的な長期トレンドを捉えている企業に重点的に投資していく考えです。また、リスク管理の観点から経済サイクルやマクロ経済上のリスクを抑制し、企業統治の劣る企業を避けるとともに、経済的および政治的リスクのある国については慎重に対応します。引き続き、当マザーファンドが採用する地域横断的な独自の個別銘柄リサーチにより、利益率が高く長期に利益成長性が高い魅力的な企業を発掘することに努めます。

今後も投資環境の変化に注意を払いながら運用にあたり、運用成果の向上に全力で取り組んでいく所存ですので、引き続きご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○１万口当たりの費用明細

（2019年８月29日～2020年８月28日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 売買委託手数料	48	0.211	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(43)	(0.191)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
（オプション証券等）	(4)	(0.018)	
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
(b) 有価証券取引税	44	0.196	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（株式）	(44)	(0.195)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	
(c) その他費用	20	0.088	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(15)	(0.066)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(5)	(0.022)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	112	0.495	
期中の平均基準価額は、22,574円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。
(注) 各比率は、１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2019年８月29日～2020年８月28日）

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
		百株	千米ドル	百株	千米ドル
外国	アメリカ	8,184	23,890	8,278	38,590
			千メキシコペソ		千メキシコペソ
	メキシコ	6,191	42,076	7,885	94,253
			千ブラジルレアル		千ブラジルレアル
	ブラジル	8,086 (6,245)	23,925 (654)	19,772 (－)	58,036 (654)
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	オランダ	65 (188)	450 (1,302)	254	1,351
	ギリシャ	737	671	2,671	2,383
	ポルトガル	1,046	1,557	1,046	1,570
			千英ポンド		千英ポンド
	イギリス	788	2,835	1,821	5,014
			千ポーランドズロチ		千ポーランドズロチ
	ポーランド	951	13,827	821	16,171
			千香港ドル		千香港ドル
	香港	19,225	198,894	27,348	112,281
			千マレーシアリンギット		千マレーシアリンギット
	マレーシア	25,323	11,026	10,934	12,911
			千タイバーツ		千タイバーツ
	タイ	806	6,774	13,216	102,141
			千フィリピンペソ		千フィリピンペソ
	フィリピン	1,782	15,676	190,458	77,869
			千インドネシアルピア		千インドネシアルピア
	インドネシア	3,610	1,625,350	72,820	79,186,233
			千韓国ウォン		千韓国ウォン
	韓国	1,269	11,719,738	3,081	21,870,711
			千新台湾ドル		千新台湾ドル
	台湾	17,310	591,546	11,960 (－)	391,311 (1,122)
			千インドルピー		千インドルピー
	インド	5,869 (2,789)	556,724 (293,782)	17,708 (1,211)	1,172,412 (293,782)
			千ケニアシリング		千ケニアシリング
	ケニア	－	－	42,428	122,049
			千南アフリカランド		千南アフリカランド
	南アフリカ	357	67,497	262 (－)	63,105 (21,105)
			千中国元		千中国元
	中国	13,669	41,464	12,221	98,157

（注）金額は受け渡し代金。
（注）（ ）内は株式分割、予約権行使（株式転換）、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
（注）単位未満は切り捨て。
（注）－印は該当なし。

オプション証券等

		買付		売付	
		証券数	金額	証券数	金額
外国	アメリカ	証券 669,630 (66,424)	千米ドル 2,080 (－)	証券 1,504,150	千米ドル 2,754

(注) 金額は受け渡し代金。
(注) ( )内は株式分割、予約権行使(株式転換)、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注) 単位未満は切り捨て。

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	インド	千口	千インドルピー	千口	千インドルピー
	EMBASSY OFFICE PARKS REIT	169	74,012	－ (－)	－ (1,644)

(注) 金額は受け渡し代金。
(注) ( )内は分割、合併、増資等による増減分です。
(注) 単位未満は切り捨て。
(注) －印は該当なし。

先物取引の種類別取引状況

種類別		買建		売建	
		新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
外国	株式先物取引	百万円 498	百万円 496	百万円 －	百万円 －

(注) 金額は受け渡し代金。
(注) 取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。
(注) 単位未満は切り捨て。
(注) －印は該当なし。

○株式売買比率

(2019年８月29日～2020年８月28日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	30,516,059千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	11,282,894千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	2.70

(注) 株式売買金額は、受け渡し代金。
(注) 平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額(外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額)の単純平均。
(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2019年８月29日～2020年８月28日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年８月28日現在)

外国株式

銘柄		期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
ALIBABA GROUP HOLDING LTD-ADR		512	—	—	—	小売
58.COM INC-ADR		218	—	—	—	メディア・娯楽
FOUR SEASONS EDUCATION CAYMAN ADR		566	—	—	—	消費者サービス
HUYA INC-ADR		—	641	1,807	192,792	メディア・娯楽
NEW ORIENTAL EDUCATIO-SP ADR		415	249	3,650	389,348	消費者サービス
PETROLEO BRASILEIRO-SPON ADR		—	3,040	2,486	265,239	エネルギー
TAL EDUCATION GROUP-ADR		—	198	1,518	161,980	消費者サービス
NEW FRONTIER HEALTH CORP - A		—	313	245	26,198	ヘルスケア機器・サービス
BAOZUN INC SPN ADR		401	—	—	—	小売
BROADCOM INC		—	48	1,631	173,990	半導体・半導体製造装置
51JOB INC-ADR		28	—	—	—	商業・専門サービス
GDS HOLDINGS LTD-ADR		—	196	1,588	169,440	ソフトウェア・サービス
HUAZHU GROUP LDR-ADR		92	—	—	—	消費者サービス
JD.COM INC-ADR		—	484	3,842	409,881	小売
MICRON TECHNOLOGY INC		441	75	335	35,836	半導体・半導体製造装置
MOMO INC-SPON ADR		601	414	853	91,030	メディア・娯楽
NETEASE INC-ADR		—	37	1,924	205,285	メディア・娯楽
YANDEX NV-A		1,088	—	—	—	メディア・娯楽
GLOBALTRA-SPONS GDR REG S		788	955	575	61,435	運輸
SBERBANK-SPONSORED ADR		2,820	2,183	2,625	280,002	銀行
TCS GROUP HOLDING-REG S		1,034	76	194	20,734	銀行
小計	株数・金額	9,009	8,914	23,281	2,483,197	
	銘柄数<比率>	13	14	—	<21.9%>	
(メキシコ)				千メキシコペソ		
FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD		3,617	—	—	—	食品・飲料・タバコ
GENOMMA LAB INTERNACIONAL - B		—	1,922	4,421	21,309	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額	3,617	1,922	4,421	21,309	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.2%>	
(ブラジル)				千ブラジルレアル		
PETROBRAS-PETROLEO BRAS-PREF		3,862	—	—	—	エネルギー
ITAU UNIBANCO HOLDING S-PREF		1,641	—	—	—	銀行
LOCALIZA RENT A CAR		1,120	—	—	—	運輸
EQUATORIAL ENERGIA SA - ORD		1,441	3,609	8,553	163,796	公益事業
B3 SA-BRASIL BOLSA BALCAO		2,974	901	5,431	104,008	各種金融
IRB BRASIL RESSEGUROS SA		—	1,087	828	15,861	保険
小計	株数・金額	11,038	5,597	14,812	283,666	
	銘柄数<比率>	5	3	—	<2.5%>	
(ユーロ…ギリシャ)				千ユーロ		
OPAP SA		3,090	1,155	901	113,593	消費者サービス
ユーロ計	株数・金額	3,090	1,155	901	113,593	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.0%>	
(イギリス)				千英ポンド		
NMC HEALTH PLC		1,183	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス

アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド

銘柄		期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(イギリス)		百株	百株	千英ポンド	千円	
NETWORK INTERNATIONAL HOLDIN		－	150	58	8,187	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額	1,183	150	58	8,187	
	銘柄数＜比率＞	1	1	－	＜0.1%＞	
(ポーランド)				千ポーランドズロチ		
DINO POLSKA SA		－	129	3,000	85,736	食品・生活必需品小売り
小計	株数・金額	－	129	3,000	85,736	
	銘柄数＜比率＞	－	1	－	＜0.8%＞	
(香港)				千香港ドル		
TRAVELSKY TECHNOLOGY LTD-H		1,240	－	－	－	ソフトウェア・サービス
CNOOC LTD		6,110	－	－	－	エネルギー
PING AN INSURANCE GROUP CO-H		4,285	2,925	24,394	335,668	保険
AIA GROUP LTD		－	2,136	16,554	227,783	保険
A-LIVING SERVICES CO LTD-H		－	4,685	19,161	263,664	商業・専門サービス
FU SHOU YUAN INTERNATIONAL		19,490	15,040	12,137	167,008	消費者サービス
JINXIN FERTILITY GROUP LTD		16,852	10,888	11,759	161,804	ヘルスケア機器・サービス
ALIBABA GROUP HOLDING LTD		－	2,550	71,575	984,878	小売
JD.COM INC-CL A		－	256	8,120	111,742	小売
NETEASE INC		－	579	9,269	127,552	メディア・娯楽
TENCENT HOLDINGS LTD		398	1,192	66,513	915,227	メディア・娯楽
YESTAR HEALTHCARE HOLDINGS		8,325	8,325	999	13,746	ヘルスケア機器・サービス
小計	株数・金額	56,700	48,577	240,485	3,309,074	
	銘柄数＜比率＞	7	10	－	＜29.2%＞	
(マレーシア)				千マレーシアリンギット		
TOP GLOVE CORPORATION BERHAD		－	2,875	7,590	194,076	ヘルスケア機器・サービス
MY EG SERVICES BHD		18,951	30,465	4,447	113,732	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額	18,951	33,340	12,037	307,808	
	銘柄数＜比率＞	1	2	－	＜2.7%＞	
(タイ)				千タイバーツ		
CP ALL PCL-FOREIGN		11,028	－	－	－	食品・生活必需品小売り
MUANGTHAI CAPITAL PCL-FOREIGN		6,606	5,224	26,903	91,741	各種金融
小計	株数・金額	17,634	5,224	26,903	91,741	
	銘柄数＜比率＞	2	1	－	＜0.8%＞	
(フィリピン)				千フィリピンペソ		
BANK OF PHILIPPINE ISLANDS		5,962	－	－	－	銀行
PREMIUM LEISURE CORP		182,714	－	－	－	消費者サービス
小計	株数・金額	188,676	－	－	－	
	銘柄数＜比率＞	2	－	－	＜－%＞	
(インドネシア)				千インドネシアルピア		
BANK MANDIRI PERSERO TBK		55,395	－	－	－	銀行
BANK CENTRAL ASIA PT		16,535	2,720	8,976,000	65,524	銀行
小計	株数・金額	71,930	2,720	8,976,000	65,524	
	銘柄数＜比率＞	2	1	－	＜0.6%＞	
(韓国)				千韓国ウォン		
NCSOFT CORP		－	30	2,589,000	233,268	メディア・娯楽
SK HYNIX INC		331	－	－	－	半導体・半導体製造装置
DUZONBIZON CO LTD		－	71	736,450	66,354	ソフトウェア・サービス
SAMSUNG SDI CO LTD		112	－	－	－	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD		778	609	3,387,152	305,182	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SAMSUNG ELECTRONICS-PREF		1,572	271	1,312,608	118,265	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小計	株数・金額	2,794	981	8,025,210	723,071	
	銘柄数＜比率＞	4	4	－	＜6.4%＞	

アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド

銘柄		期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(台湾)		百株	百株	千新台湾ドル	千円	
ELITE MATERIAL CO LTD		1,430	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MEDIATEK INC		—	1,800	100,440	364,597	半導体・半導体製造装置
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC		1,120	6,190	274,836	997,654	半導体・半導体製造装置
SUNNY FRIEND ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY		1,790	2,080	52,312	189,892	商業・専門サービス
VOLTRONIC POWER TECHNOLOGY CORP		—	80	8,080	29,330	資本財
SILERGY CORP		240	—	—	—	半導体・半導体製造装置
UNIVERSAL VISION BIOTECHNOLOGY		—	210	4,830	17,532	ヘルスケア機器・サービス
TCI CO LTD		470	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
TCI CO LTD NEW		70	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
ASPEED TECHNOLOGY INC		—	110	13,475	48,914	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額	5,120	10,470	453,973	1,647,921	
	銘柄数<比率>	6	6	—	<14.5%>	
(インド)				千インドルピー		
RELIANCE INDUSTRIES LIMITED		—	277	58,628	85,010	エネルギー
INDUSIND BANK LTD		1,315	—	—	—	銀行
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE		856	805	150,237	217,843	銀行
HCL TECHNOLOGIES LTD		448	—	—	—	ソフトウェア・サービス
MANAPPURAM FINANCE LTD		6,851	6,157	95,588	138,602	各種金融
LARSEN & TOUBRO LTD		1,172	—	—	—	資本財
ADANI PORTS AND SPECIAL ECON		3,199	—	—	—	運輸
MUTHOOT FINANCE LTD		1,264	800	95,775	138,874	各種金融
HDFC BANK LIMITED		1,211	—	—	—	銀行
REPCO HOME FINANCE LTD		960	—	—	—	各種金融
INDIABULLS HOUSING FINANCE L		1,326	—	—	—	銀行
L&T TECHNOLOGY SERVICES LTD		—	303	46,605	67,578	商業・専門サービス
小計	株数・金額	18,605	8,344	446,835	647,911	
	銘柄数<比率>	10	5	—	<5.7%>	
(ケニア)				千ケニアシリング		
SAFARICOM LTD		73,723	31,294	92,161	91,239	電気通信サービス
小計	株数・金額	73,723	31,294	92,161	91,239	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.8%>	
(南アフリカ)				千南アフリカランド		
CAPITEC BANK HOLDINGS LTD		40	191	17,199	107,493	銀行
NASPERS LTD-N SHS		188	133	43,038	268,989	小売
小計	株数・金額	229	324	60,237	376,482	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<3.3%>	
(中国…ストックコネクト)				千中国元		
HAN'S LASER TECH INDUSTRY		688	—	—	—	資本財
WULIANGYE YIBIN CO LTD-A		1,839	—	—	—	食品・飲料・タバコ
HANGZHOU HIKVISION DIGITAL-A		—	4,177	15,450	239,490	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
KWEICHOW MOUTAI CO LTD A		202	—	—	—	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額	2,730	4,177	15,450	239,490	
	銘柄数<比率>	3	1	—	<2.1%>	
合計	株数・金額	485,031	163,323	—	10,495,957	
	銘柄数<比率>	61	54	—	<92.6%>	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。
(注) —印は該当なし。

外国オプション証券等

銘柄		期首(前期末)	当期末		
		証券数	証券数	評価額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		証券	証券	千米ドル	千円
HAN'S LASER TECH(CW/UBS)6/3/2020		110,400	－	－	－
MOBILE WORLD IN (CW/MACQ) 3/31/2020		84,066	84,066	322	34,395
VINCOM RETAIL(CW/MACQ) 3/31/2020		1,937,602	820,952	963	102,770
BANK OF FOREIGN(CW/MACQ) 07/06/21		491,820	441,520	1,590	169,674
FPT CORP(CW/MAQ)03/31/2021		－	509,254	1,095	116,837
合計	証券数・金額	2,623,888	1,855,792	3,972	423,677
	銘柄数＜比率＞	4	4	－	＜3.7%＞

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 邦貨換算金額欄の＜ ＞内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注) 評価額の単位未満は切り捨て。
(注) －印は該当なし。

外国投資信託証券

銘柄		期首(前期末)	当期末			
		口数	口数	評価額		比率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(インド)		千口	千口	千インドルピー	千円	%
EMBASSY OFFICE PARKS REIT		－	169	62,431	90,525	0.8
合計	口数・金額	－	169	62,431	90,525	
	銘柄数＜比率＞	－	1	－	＜0.8%＞	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。
(注) －印は該当なし。

○投資信託財産の構成

(2020年８月28日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	10,495,957	90.0
オプション証券等	423,677	3.6
投資証券	90,525	0.8
コール・ローン等、その他	650,730	5.6
投資信託財産総額	11,660,889	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。
(注) 当期末における外貨建純資産（11,310,897千円）の投資信託財産総額（11,660,889千円）に対する比率は97.0%です。
(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、１米ドル＝106.66円、１メキシコペソ＝4.82円、１ブラジルレアル＝19.15円、１ユーロ＝126.06円、１英ポンド＝140.78円、１ポーランドズロチ＝28.57円、１香港ドル＝13.76円、１マレーシアリンギット＝25.57円、１タイバーツ＝3.41円、100インドネシアルピア＝0.73円、100韓国ウォン＝9.01円、１新台湾ドル＝3.63円、１インドルピー＝1.45円、１ケニアシリング＝0.99円、１南アフリカランド＝6.25円、１中国元＝15.50円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年８月28日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	11,959,486,338
コール・ローン等	453,497,122
株式(評価額)	10,495,957,663
オプション証券等(評価額)	423,677,886
投資証券(評価額)	90,525,611
未収入金	485,765,644
未収配当金	9,716,464
差入委託証拠金	345,948
(B) 負債	622,723,044
未払金	408,572,500
未払解約金	214,150,000
未払利息	544
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	11,336,763,294
元本	4,274,275,586
次期繰越損益金	7,062,487,708
(D) 受益権総口数	4,274,275,586口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	26,523円

(注) 期首元本額6,535,541,929円、期中追加設定元本額323,455,760円、期中一部解約元本額2,584,722,103円。当期末現在における１口当たり純資産額2.6523円。

(注) 当期末現在において、当親投資信託受益証券を組み入れているベビーファンドの組入元本額の内訳は、下記のとおりです。

○損益の状況 (2019年８月29日～2020年８月28日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	188,974,276
受取配当金	187,063,138
受取利息	1,467,195
その他収益金	488,708
支払利息	△　44,765
(B) 有価証券売買損益	2,884,089,101
売買益	4,545,980,576
売買損	△1,661,891,475
(C) 先物取引等取引損益	△　1,998,364
取引益	691,595
取引損	△　2,689,959
(D) 保管費用等	△　10,761,974
(E) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ)	3,060,303,039
(F) 前期繰越損益金	7,068,475,847
(G) 追加信託差損益金	421,007,225
(H) 解約差損益金	△3,487,298,403
(I) 計(Ｅ＋Ｆ＋Ｇ＋Ｈ)	7,062,487,708
次期繰越損益金(Ｉ)	7,062,487,708

(注) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**および**(C)先物取引等取引損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で**(G)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で**(H)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

＜組入元本額の内訳＞

アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Ａコース（為替ヘッジあり）	412,480,475円
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Ｂコース（為替ヘッジなし）	2,346,299,360円
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Ｃコース毎月決算型（為替ヘッジあり）予想分配金提示型	541,811,784円
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Ｄコース毎月決算型（為替ヘッジなし）予想分配金提示型	973,683,967円